

2025年10月31日
株式会社 A D E K A

次世代 EUV リソグラフィ向け MOR 用金属化合物の新プラントを建設 ～ A D E K A、強みの ALD 材料技術で先端フォトレジストの技術革新に貢献～

株式会社 A D E K A（代表取締役社長兼社長執行役員：城詰秀尊、本社：東京都荒川区）は、鹿島化学品工場（茨城県神栖市）に次世代 EUV リソグラフィ（高 NA EUV）向け MOR 用金属化合物のプラント新設を決定しましたのでお知らせいたします。

高度 ICT 社会の実現に欠かせない半導体は、情報処理の高速化と消費電力の低減を背景に、高集積化や高積層化が進んでいます。こうしたなか、シリコンウエハ上にフォトレジストを塗布し光を照射して微細な回路パターンを形成するリソグラフィ（露光）工程では、メモリ（HBM）やロジック半導体のさらなる微細化に対応するため、EUV（極端紫外線）露光装置のレンズ開口数を拡大し、露光の解像度を高めることでより微細なパターンを形成できる「高 NA EUV 露光」が本格導入される見通しです。これに伴い、露光工程で使用されるフォトレジストでは材料のゲームチェンジが求められており、現在主流の CAR（化学増幅型レジスト）と併用する形で、新しいコンセプトのフォトレジスト「MOR（金属酸化物レジスト）」の採用が拡大していくと予測されています。

当社が新プラントで製造する MOR 用金属化合物は、フォトレジストの EUV 吸収率やエッチング耐性を向上させるキーマテリアルであり、先端メモリ向け高誘電材料を創出するうえで欠かせない金属錯体技術を応用して製品化しました。既に鹿島化学品工場内の ALD 材料製造ラインで量産化し、お客様へ供給を開始しており、この度、高 NA EUV 露光の本格導入を見据えて MOR 用金属化合物の専用プラントを新設する運びとなりました。建屋内には将来スペースを確保し、本格的な需要増に対応するとともに、高 NA EUV 露光をはじめとする次世代リソグラフィ工程の技術革新をにらんだ新規材料の製造も検討しています。

A D E K A グループは、先端半導体メモリ向け高誘電材料（ALD 材料）や、CAR で使用される EUV、ArF 露光向け光酸発生剤など、数多くの先端材料で半導体の高性能化に貢献しています。2026 年 1 月には、久喜開発研究所（埼玉県久喜市）内に新研究棟が完成し、ALD 材料と CAR および MOR 向け材料の開発体制をさらに強化していく考えです。

A D E K A は今後も、先端リソグラフィ工程の技術革新を素材でリードし、先端 CAR 向け材料の世界トップシェアを獲得するとともに、次世代の半導体リソグラフィを支える MOR 用材料を提供してまいります。

■ 新プラント概要

所在地	鹿島化学品工場（茨城県神栖市東和田 29 番地）
投資金額	32 億円
延床面積	1,050 平方メートル
スケジュール（予定）	着工：2026 年 4 月、営業運転開始：2028 年 4 月

補足1：ADEKAの「半導体リソグラフィ向け材料」について

当社は1998年に、当時先端であったArF（Dry）露光に使われるCAR向け光酸発生剤（PAG）の供給を開始して以降、基盤技術である光制御技術と高い品質管理能力を強みに、先端露光向け光酸発生剤の開発に注力してきました。現在、EUV、ArF露光向けを中心に高い競争力をもち、世界の主力レジストメーカー各社へ製品を提供しています。販売は好調に推移しており、2023年8月には、当社千葉工場（千葉県袖ヶ浦市）内で光酸発生剤の生産能力を2倍以上に引き上げました。

当社では、光酸発生剤をはじめ、この度新プラントを建設するMOR用金属化合物、その他リソグラフィ工程で使われる材料等の「半導体リソグラフィ材料」を、半導体材料事業における戦略製品のひとつと位置付けています。

補足2：ADEKA 半導体材料事業について

1980年代に、当時の日本国内の半導体メーカーへ当社の祖業である電解事業から得られた塩素を高純度化しエッチングガスとして提供したことが、当社の半導体材料ビジネスの始まりです。以降、主に半導体の前工程で使用される材料で競争力を有する製品を有しており、先端半導体メモリ向け高誘電材料（High-k, ALD材料）は長年世界シェアNo.1を堅持しています。

さらなる微細化の進展や高積層化に貢献するべく、次世代を見据えた研究開発に取り組んでおり、当社の強みである前工程向けのみならず、100年以上にわたり培った基盤技術を活用し、先端半導体のパッケージ技術（後工程）の進化に資する材料の開発にも注力しています。2025年4月、研究開発・営業・企画・マーケティング部門を集約し半導体材料に特化した組織「半導体材料本部」を立ち上げ、日本と韓国、台湾、米国の各拠点と連携し、デバイスメーカー、レジストメーカー、装置メーカーの皆様との対話を通じて、お客様のニーズに迅速にお応えする体制を強化しています。

ADEKAグループ中期経営計画『ADX 2026』（2024年度-2026年度）の半導体材料事業における2026年度KPIを、営業利益：125億円（2023年度比38.3%増）としています。2025年度は先端半導体の世代交代の影響や研究人員強化、設備償却により減益の見通しですが、2026年度以降は先端半導体の世代交代が進み、最高益となる見通しです。

ADEKAは、今後も半導体の技術革新に必要な素材の提供を推し進めるとともに、世界トップの総合半導体材料メーカーを目指してまいります。

以 上

■ 本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ

Tel:03-4455-2803/E-mail: somu@adeka.co.jp

